

付録5 遺言公正証書(見本)

平成〇〇年第〇〇号

遺言公正証書(見本)

本職は後記遺言者甲某の囑託により、後記証人の立会いをもって下記のとおり遺言の趣旨の口述を筆記しこれを証書に作成する。

- 1 遺言者は、遺言者の所有する次の不動産を長男 乙某(昭和〇年〇月〇日生)に相続させる。
 - (1) 所在地 東京都荒川区××〇〇丁目
番 〇〇番
地目 宅地
地積 〇〇.〇〇平方メートル
 - (2) 所在地 東京都荒川区××〇〇丁目〇〇番地
家屋番号 〇〇番
種類 居宅
構造 木造瓦葺2階建
床面積 1階 〇〇.〇〇平方メートル
2階 〇〇.〇〇平方メートル
- 2 遺言者は、遺言者の所有する次の財産を次男 丙某(昭和〇年〇月〇日生)に相続させる。
 - (1) 〇〇信用金庫尾久支店に対する遺言者名義の総合預金債権及びその他の預金債権全部。
 - (2) 〇〇銀行日暮里支店に対する遺言者名義の総合預金債権及びその他の預金債権全部。
- 3 遺言者は、以上を除く残余の遺産はすべて妻 丁某(昭和〇年〇月〇日生)に相続させる。
- 4 遺言者は、この遺言の執行者として下記の者を指定する。

住所 東京都墨田区××〇〇丁目〇〇番地
氏名 A某
生年月日 昭和〇年〇月〇日
- 5 遺言執行者の報酬は、金〇〇万円とする。執行報酬及び執行に関する交通費その他の実費は、遺言者の有する預貯金から優先的に支出できるものとする。

6 (付言)

遺言を作成するにあたり、つぎのとおり申し添えます。
 …………… (省略)

以上円満な相続となることを願い、私の付言といたします。

以上

本 旨 外 要 件

住 所 東京都荒川区××〇〇丁目

職 業 無職

遺 言 者 甲某

生年月日 昭和〇年〇月〇日生

上記の者は、本職氏名を知らず面識がないので法定の印鑑証明書により人違いでないことを証明させた。

住 所 東京都足立区××〇〇丁目〇〇番地

職 業 会社員

証 人 B某

生年月日 昭和〇年〇月〇日生

住 所 東京都台東区××〇〇丁目〇〇番地

職 業 会社員

証 人 C某

生年月日 昭和〇年〇月〇日生

以上各事項を遺言者及び証人に読み聞かせたところ各自筆記の正確なことを承認し下記に署名押印する。

遺 言 者 甲某

実印

証 人 B某

印

証 人 C某

印

この証書は民法第969条第1号ないし第4号の方式に従い作成し同条第5号に基づき下記に署名押印する。

平成〇〇年〇月〇日

本職役場において原本により作成したものである。

役場所在地 東京都〇〇区××〇〇丁目〇〇番地

東京法務局所属

公 証 人

D某

印